

仙人通信 231 大高山(493m)・天覚山(445・4m)

大高山・天覚山は、伊豆が岳(仙通 187)と天覧山(仙通 223)のほぼ中央に位置し、天覚山は3等三角点の山でもある。又この二山全体が杉や檜に覆われた山脈でもある。

西武秩父線の東吾野駅に車を置き、電車で吾野駅まで進み一周するコースとした。吾野駅から秩父方面に200m程進んだ先にある法光寺手前のレールの下に設けられた幅2m程のトンネルを抜け、右手の崖に作られた墓地に沿って進むと、左手に大高山を示す道標だ。登山コースのスタート点である杉林への突入だ。

鶯の鳴き声と電車の音だけが聞こえる静かなコースである。西側にある尾根方向に向かい登り進み、再度東側から南側に進むこと、40分で子ノ権現との分岐点である前坂(425m)に着くことが出来た。ここからは、東側に向かうコースとなる。杉・檜の根元にはアオキヒサカキ・カシに混じり、他では見かけない茶の木が点在し、お茶の産地である事を実感した。コースは3回程のアップダウンを繰り返す、15分程で県道である。県道を横切り、杉等の根や岩のキツイ尾根道となる。小さなピークを3回ほど過ぎた先が大高山山頂である。県道から30分だ。山頂には石作りの若宮八幡大社が祀られていた。

大仁田山だろうか南側に僅かの眺望だ！ 5分程休憩して、15分程掛けて同様の道を進むと大岩である。大岩の左手にあるコースとなり、赤いヤマ椿が咲く小さなピークを3回程過ぎ尾根へと出た。尾根の右手には迷路防止のロープと道標だ。今年の1月12日の朝日新聞の4面に、新聞紙の4分の1を使った「日本一迷う山道」の書出しでこの天覚山が取り上げられていた。気軽に登れる低山であり、トレイルランニングコースとなっているのが一因とも書かれていた。この登山コースには、他の山と同様に木に捲いた赤いテープや道標が明示されており、迷う事は無いと思われるが？・・・大岩から1時間15分程で天覚山の山頂に辿り着けた。古びた丸太のベンチとアセビの白い花が出迎えてくれた。山頂の南側は開けており、霞んでいるものの飯能市の先に、柏木山から大仁田山辺りまでを望む事が出来た。休憩後、尾根を20分程下ると赤い奥秩父線70番高压線鉄塔である。周囲の草木は刈り取られた中に二株のスミレが元気に花を付け、迎えてくれたのに心打たれた。ここから右手の沢に沿って5分程で県道である。県道を5分程進むと多峰主山への入り口のある東峠だ。県道を更に30分程進むと民家が現れ近くには、径50cm長さが5mは有るとされる杉材の丸太が積み上げられていた。この地は、有名な西川材とよばれ材木の生産地である証を見る事もできた。更に民家の間を進むとこと10分程で東吾野駅に到着することが出来た4時間30分(17000歩)の杉・檜の木立に囲まれた山旅となりました。(R5.3. 16)

前坂                      大高山                      大岩                      迷路防止                      天覚山

